



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度テーマ

国際ロータリー 「変化をもたらす」

R.I. 会長 イアンH.S.ライズリー

地区方針 「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 永田壮一

熊本グリーンRC 「ロータリーを楽しみ、会員相互の研鑽・親睦を深めよう」

熊本グリーンRC会長 河野景治

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河野景治 ■幹事：中島三千代 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1278回

2017-2018年度 第15回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

<黙禱>

土井口 勝名誉会員平成29年11月4日にご逝去されました。哀悼の意を表し黙禱を捧げます。

「手に手つないで」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (河野 景治 会長)

来訪者：熊本RC 立石 和裕 君

友情の握手

会長スピーチ (河野 景治 会長)

本日は例会冒頭に黙禱をいたしました。土井口勝名誉会員が、一昨日・4日午前2時13分にご逝去されました。満91の齢であられました。ご冥福をお祈りするばかりでございます。すでに永年の会員はご存知のことではございますが、土井口会員は昭和30年に生地である玉名市にて獣医科医院を開業され、昭和55年に玉名RCにて会長を、そして、昭和59年に現在地の熊本市保田窪(東バイパス沿い)に熊本動物病院を開院、平成元年の当クラブ創立ではチャーターメンバー、平成4年に当クラブ会長、平成3年2月に「ロータリー情報集」の執筆・初版出版(単独クラブの情報集としては稀

【2017年11月6日】

の当クラブ創立ではチャーターメンバー、平成4年に当クラブ会長、平成3年2月に「ロータリー情報集」の執筆・初版出版(単独クラブの情報集としては稀有な11版39000冊、2010年まで全国各地のロータリアンの手に届きました：平成5年、8年ガバナー賞受賞)、そして平成13年には熊本水前寺公園RCの設立尽力のため転籍、平成14年に当クラブに戻られて、平成17年9月3日より当クラブ最初の名誉会員であられました。私事ですが、平成9年のクラブ入会前のオリエンテーションで推薦人の故・久保田会員と一緒に過ごしたのが最初でございました。以来、入会後も例会や会合を通じてご指導を賜り、敬愛させて頂いております多くの先輩ロータリアンのお一人でございました。真に感謝する次第でございます。本日は、「ロータリーの友・1992年2月号」に土井口会員が寄稿されました、ロータリー文庫収蔵「職業奉仕についてこう思う」の写しを配布いたしました。最終章が私は好きで、この度も読み返し、土井口先生を偲んだ次第でございました。



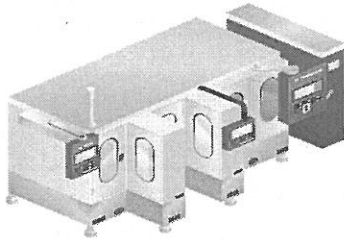
卓話予定

- 11/13 ★熊本北RCとの合同例会 例会終了後に「もっとも」にて懇親会あり。
「時代と共に変わる時間と時計の価値」荒木 一之 会員卓話
- 11/20 福島 和見 会員 担当
- 11/27 石浦 順一 会員 担当

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

職業卓話 自動化装置ライン
PLC 制御について
熊本グリーン RAC 荒木優祐

本日は私の職業内容について、お話しさせていただきます。現在、私は部品または製品組立てを行う自動化装置のソフトを設計しています。

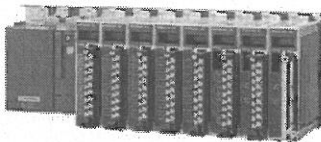


イメージ図

実は装置を制御する方法は主に大きく分けて2つの方法があります。

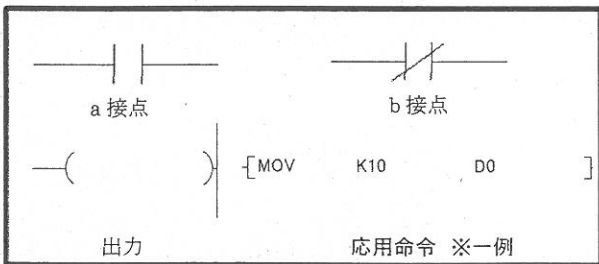
- ① PC(パソコン)を使って制御する方法
- ② PLC という機器を使って制御する方法

現在私は②の PLC を使った機器を使って自動化装置のソフト設計を行っています。



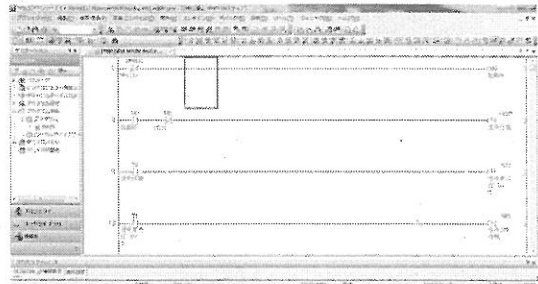
PLC 装置

PLC は小型コンピュータの一種で、ラダー言語を使ってプログラムの作成を行います。コンピュータが発達した現在でも多くの産業用機器装置等に使われています。ラダーは、「はしご」という意味をもち、リレー回路を図記号化したものです。PLC が開発される前は多くのリレーを使って機器の制御が行われていました。

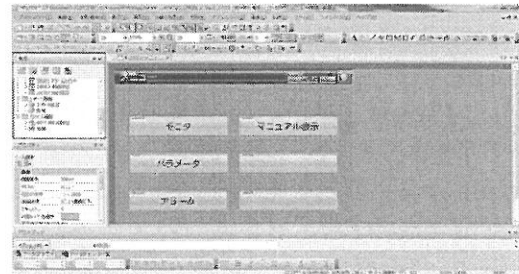


ラダー言語に使われる図記号

このラダー言語を使い、職場でプログラムの作成や装置をスイッチで操作、もしくは装置の稼働情報を閲覧できるタッチパネルの画面作成を行っています。また作成するにあたり、装置がどのような順序で動作していくのかを把握し、誰もが分かるソフトを作成していくことが重要です。



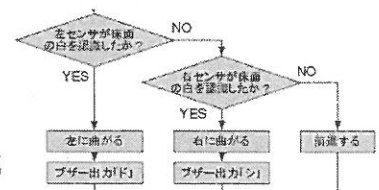
ラダーソフトを使いプログラム作成



スイッチ操作や稼働情報を閲覧できる画面の作成

ソフト作成の流れについては下記の順序で行っていきます。

- ① 事前資料作成
- ↓
- ② プログラム作成
- ↓
- ③ 動作をパソコンでシミュレート
- ↓
- ④ 装置本体にインストール後動作確認



資料の一例フローチャート

自動化装置はソフト設計だけでなく機械設計、電気設計を通じて装置全体が完成します。今回の卓話を通じて、自動化装置に PLC という機器が使われていることを知っていただければ幸いです。

寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べて6.3%増（普通寄付金：3.5%増、特別寄付金：11.9%増）となりました。今月は大口法人寄付をいただいたことにより、8月単月のみで1億円を超えました。これは2001年度以来16年ぶりです。皆さまのご支援に厚く御礼申し上げます。当財

団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付金には所得税・法人税の税制優遇を受けることができます。相続税も非課税となります。財団設立50周年の米山月間には、ますますのご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

さまざまな寄付のカタチ

当会第2550地区理事をおつとめいただいている飯村慎一氏から1千万円の法人寄付をいただきました。同氏は今年3月、地元の宇都宮大学へ1億1千万円を寄付し、経済的理由で修学困難な日本人学生への支援にあてたことで知られています。飯村氏からコメントをいただきました。

【飯村理事より】このたびは米山奨学会へ寄付の機会を与えていただき、ありがとうございます。国籍にかかわらず、次世代の人材を育て、平和の大使を育成することは私たちの責務だと思っています。米山梅吉翁の平和の精神が今ほど求められている時期はないのではないのでしょうか。近隣諸国の政情は不安定ですが、政治家にはできない事を、根気強く、民間の力で、少しでも実現していきたいと思っています。

理事会・評議員会報告 — 米山梅吉記念館で初開催 —

理事会（8月18日開催）および定時評議員会（9月8日開催）が以下の通り開催されました。

今回の理事会、評議員会は、財団設立50周年を記念して、初めて（公財）米山梅吉記念館（静岡県長泉町）で開催しました。各日の出席者は、

それぞれ会議の前に、記念館近くの米山梅吉翁のお墓を訪れ、墓前で一人ひとり手を合わせました。



なお、理事会・評議員会とも、各議案はいずれも原案通り承認されました。

第十八回理事会

議長：小沢一彦理事長

出席者：理事23人 監事2人

【主な議題】評議員、理事後任候補者の件、2016年度事業報告および附属明細書承認、2016年度計算書類承認、財団設立50周年記念式典の件等

第八回評議員会

議長：市川紳佐磨評議員

出席者：評議員21人、常務理事・監事7人

【主な議題】2017年度評議員選任、2017年度理事選任、2016年度計算書類承認等

今年の米山月間資料は新作DVD入り！

10月はいよいよ米山月間。毎年9月下旬には、全クラブへ最新資料をお送りしています。今年の目玉は、財団設立50周年記念DVD「世界へ届け 米山の懸け橋」（15分）です。必ず例会でご視聴ください。そのほか、会員数分の最新版『豆辞典』、50周年記念誌・記念グッズ（ネクタイとスカーフ *数量限定）申込用紙、事業

報告書などが同封されています。ぜひご活用ください。

